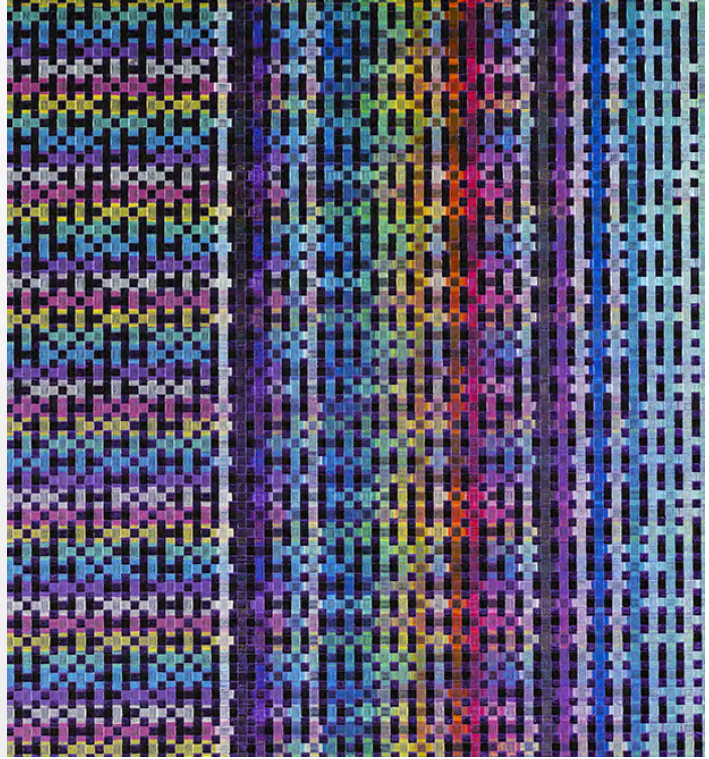


## 染谷聡×川人綾「となりの揺らぎ」 by imura art gallery



染谷聡《をどる桃》2021  
撮影：来田猛 / KORODA takeru



川人綾《CU C/U\_dccxxx-dccxxx\_(b)\_XIII》部分 2022  
撮影：大島拓也 / Takuya Oshima (Northern Studio)

会期：2023年1月10日（火）～1月29日（日）  
会場：CADAN有楽町 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル1F  
時間：火～金 11時～19時 / 土、日、祝 11時～17時  
定休日：月（祝日の場合は翌平日）  
トークイベント：2023年1月10日（火）18時～19時@CADAN有楽町  
染谷聡×川人綾×天野太郎（東京オペラシティアートギャラリー チーフ・キュレーター）  
最新の情報は、CADAN有楽町ウェブサイトでご確認ください。  
<https://cadan.org>

この度、CADAN有楽町にて染谷聡と川人綾による二人展「となりの揺らぎ by imura art gallery」を開催いたします。

染谷聡は、漆を素材に漆芸における装飾行為である「加飾」をテーマに制作し、工芸分野に留まらない作品を生み出しています。加飾の研究を重ねる中で、染谷は過去の漆作品の加飾に見られる微妙なズレに着目しました。このリサーチを自身の作品に昇華した作品が、近年制作している「ミストレーシング」シリーズです。過去の漆作品を、染谷なりにトレース（辿る／写す）することで、品物から垣間見えてくる物語と景色を作品化しています。

一方、川人綾も染織という工芸分野から美術教育をスタートし、パリへの留学を経て、東京での大学院時代に織りのシステムを応用した「グリッド・ペインティング」を描くようになりました。神経科学者の父の影響を受け、幼い頃より脳を通して世界を把握しているということを強く意識していた川人は、グリッドの重なりによる錯視効果と、手作業による制御できないズレがもたらす意図しない美しさをテーマに制作しています。

初めてとなる二人展では、それぞれ自身のテーマに沿った新作を制作しつつ、お互いのコンセプトの重なる部分を意識しながら準備を進めました。同じ対象を見ていても、人それぞれ違う捉え方をしている面白さがある、と二人は言います。自分の目に見えている景色は、横にいる人のそれとは違うのかもしれない、という気づきを会場で感じていただければと思います。

川人さんの「ズレ」に対する関心や工芸的な起点に興味があって、「ズレ」をテーマと一緒に展示ができたら面白そうだなと思っていました。一昨年越しに実現できて嬉しく思います。

僕は今回、土地に根付いた漆器の装飾を自分なりに辿り、写してゆく作品シリーズ、《ミストレーシング》を展示します。同時期に同シリーズを沖縄で展示中なので、その辺とも関連できればと思います。

せっかくの機会なので、いつもより自由にズレて、お互いのズレが良い揺らぎとなって空間に広がればなによりです。

染谷聡

染谷さんにこの2人展をご提案いただいたのは一昨年の秋頃だったが、とても嬉しかったのを覚えている。それまで染谷さんとお会いしたのは1度だけで、たしか数年前の京都のアートフェアだったと思う。その時に沖縄の染織の話になり、興味対象が似ているのかなと思っていた。

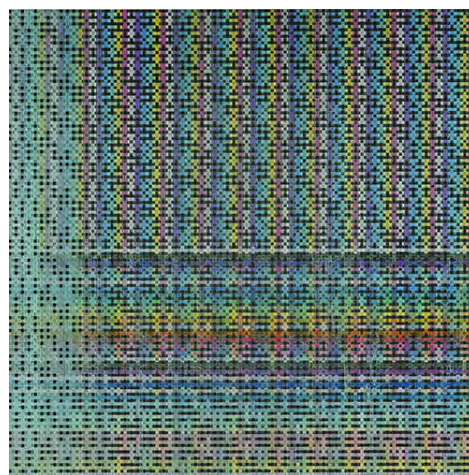
私の制作コンセプトは、一言にまとめると『制御とズレ』だが、同じものを見ていても、人それぞれ見えているものが異なるのではないか、という感覚を共有したいと思って作品をつくっている。それは染谷さんの制作にも共通していて、そのことが2人展開催のきっかけとなった。

今回の展示では、お互い肩の力を抜いて、少しいつもと違うことにトライする、というのが裏テーマだ。鑑賞者の方々にも、リラックスして楽しんでもらえたらと思う。

川人綾



染谷聡《をどる桃の図案／部分》2021  
撮影：来田猛 / KORODA takeru



川人綾《CU C/U\_dccxxx-dccxxx\_(b)\_XII》2022  
撮影：大島拓也 / Takuya Oshima (Northern Studio)

## 染谷 聡 (そめや さとし)

1983 東京都生まれ、京都在住  
1984 6年間インドネシアに暮らす  
2006 京都市立芸術大学工芸科卒業  
2008 京都市立芸術大学院美術研究科博士前期課程修了  
2014 京都市立芸術大学院美術研究科博士後期課程修了 博士号(美術)取得

### ■主な個展

2022 風景の宛て先 | Beyond the Scene | Gallery 9.5 NAHA (沖縄)  
2020 DISPLAY | 日本橋三越本店 本館6階 コンテンポラリーギャラリー (東京)  
2018 あめのふる穴 | 中村屋サロン美術館 (東京)  
2016 無形のおそび | イムラアートギャラリー (京都)  
2014 咀嚼する加飾II | イムラアートギャラリー (東京)  
2013 咀嚼する加飾 | イムラアートギャラリー (京都)  
2011 うらがえりたいたのために | イムラアートギャラリー (京都)  
2009 御獣 - おけもの - | イムラアートギャラリー (京都)  
2008 Heritage of S exhibition | ギャラリー恵風 (京都)

### ■主なグループ展

2021 根の力 THE POWER OF ORIGIN | 大阪日本民芸館 (大阪)  
やんばるアートフェスティバル | (沖縄)  
Art Collaboration Kyoto [Beyond Kyoto] | 宝松庵/京都国際会館 (京都)  
2020 もようづくし | 和歌山県立近代美術館 (和歌山)  
札幌国際芸術祭2020特別編 | 北海道近代美術館 (北海道)  
2018 第13回大黒屋公募展 | 板室温泉 大黒屋 (栃木県)  
2017 今様-昔と今をつなぐ | 松濤美術館 (東京)  
パラコラージュか俶載南畝, 我藝黍稷-南の田を耕して、私は苗を植えました。 | Finch Arts (京都)  
見立てと想像力 - 千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ展 | 旧淳風小学校 (京都)  
Hard Bodies | Minneapolis Institute of Art (ミネアポリス / USA)  
2016 IMAYO: JAPAN'S NEW TRADITIONISTS | UH Manoa Art Gallery / Honolulu Museum of Art (ハワイ)  
5 Rooms | 神奈川県民ホールギャラリー (横浜)  
2014 Dialogue with Materials: Contemporary Fine Japanese Arts and Crafts | AASSM (トルコ)  
京都美術工芸新鋭選抜展2014 | 京都文化博物館 (京都)  
2011 ZIPANG 展-31人の気鋭作家が切り拓く現代日本のアートシーン | 高島屋 (日本橋店、大阪店、京都店)  
会津・漆の芸術祭2011 ~東北へのエール~ | 大和川酒造 (福島)  
2010 越後妻有大地の芸術祭の里 2010 里山のおいしい美術 | まつだい農舞台ギャラリー (新潟)  
2009 装飾の力 | 東京都国立近代美術館工芸館 (東京)

### ■コレクション

京都市立芸術大学、和歌山県近代美術館、ホテルオークラ マカオ、福島県立博物館、  
KUNSTHALL ROSTOCK (ドイツ)、ミネアポリス美術館 (アメリカ)

### ■主な受賞歴

2014 「漆芸における形態・文様・プロセスの考察 - 咀嚼する加飾 -」京都市立芸術大学博士論文「梅原賞」  
2014 京都市芸術新人賞

## 川人綾 (かわとあや)

1988 奈良生まれ 京都在住  
2011 京都精華大学 芸術学部素材表現学科テキスタイル 卒業  
2014 パリ国立高等美術学校 交換留学  
2019 東京藝術大学大学院 美術研究科先端芸術表現 博士後期課程修了

### ■主な個展

2023 project N 89 | 東京オペラシティアートギャラリー (東京)  
2022 斜めの領域 | 京都市京セラ美術館 ザ・トライアングル (京都)  
2021 川人綾 展 My Grid Paintings: 2016-2021 | 三越コンテンポラリーギャラリー (東京)  
織Scopic | イムラアートギャラリー (京都)  
2020 Tell me what you see | Pierre-Yves Caër Gallery (パリ、フランス)  
2019 Aya Kawato Solo Exhibition | A. lynesjian Fine Art (ジュネーヴ、スイス)  
Controlled / Uncontrolled | Pierre-Yves Caër Gallery (パリ、フランス)  
2018 川人綾 個展 | イムラアートギャラリー (京都)  
2017 C/U\_CCLXXX-CXC\_(w)\_I | Shonandai MY Gallery (東京)

### ■主なグループ展

2022 千島土地株式会社設立110周年記念事業 千島土地コレクション「TIDE - 潮流が形になるとき -」 | kagoo (大阪)  
2021 CADAN ROPPOINGI presented by Audi | 六本木ヒルズ Hills café/Space (東京)  
COLOR IN ART | 新宿高島屋10階美術画廊 (東京)  
2020 ブレイク前夜 in 代官山ヒルサイドテラス 時代を突っ走れ! 小山登美夫セレクションのアーティスト38人 | 代官山ヒルサイドテラス (東京)  
Crossing Paintings -交差する絵画- | イムラアートギャラリー (京都)  
2019-2020 数寄景 / NEW VIEW -日本を継ぐ、現代アートのいま- | 日本橋三越本店 (東京)、三菱地所アルティウム、福岡三越 (福岡)、阪急うめだ本店 阪急うめだギャラリー (大阪)  
2019 Drawing: Manner | Takuro Someya Contemporary Art (東京)  
2018 東京藝術大学大学院美術研究科博士審査展 2018 | 東京藝術大学大学美術館 (東京)  
Kyoto Nippon Festival 2018 | 北野天満宮、ジェイアール京都伊勢丹 (京都)  
2017 Collect 2 | Micheko Galerie (ミュンヘン、ドイツ)  
2074、夢の世界 | 東京藝術大学 大学美術館 (東京)  
第13回 群馬青年ビエンナーレ | 群馬県立近代美術館 (群馬)  
2016 Shonandai Project WILL | Shonandai MY Gallery (東京)  
Independent 2016、Tagboat Art Fes | ヒューリックホール (東京)

### ■コレクション / コミッションワーク

京都悠洛ホテルMギャラリーbyソフィテル (京都)、ザ・ホテル青龍 (京都)、シャネル株式会社 (東京)  
東京藝術大学大学美術館 (東京)、フェイスブック・ジャパン (東京)  
ロンシャン ウィーン (ウィーン、オーストリア)、ロンシャン ラメゾン銀座 (東京)、千島土地株式会社 (大阪)

### ■主な受賞歴

2018 野村美術賞 2018  
2017 2074、夢の世界 グランプリ  
2016 第11回 Tagboat Award 審査員特別賞 小山登美夫賞